

野口雨情 回想と研究

野口存輔

野口雨情回想と研究

野口存彌・編

野口雨情生誕一〇〇年記念出版

野口雨情 回想と研究 二八〇〇円

昭和五十七年五月二十九日発行

編者 野口存彌

発行人 岡部勝司

発行所 有限会社あい書林

〒二八四 千葉県四街道市鹿渡一〇二六番地

電話・〇四三四―三三―七八四九

振替・東京七―六三二五三

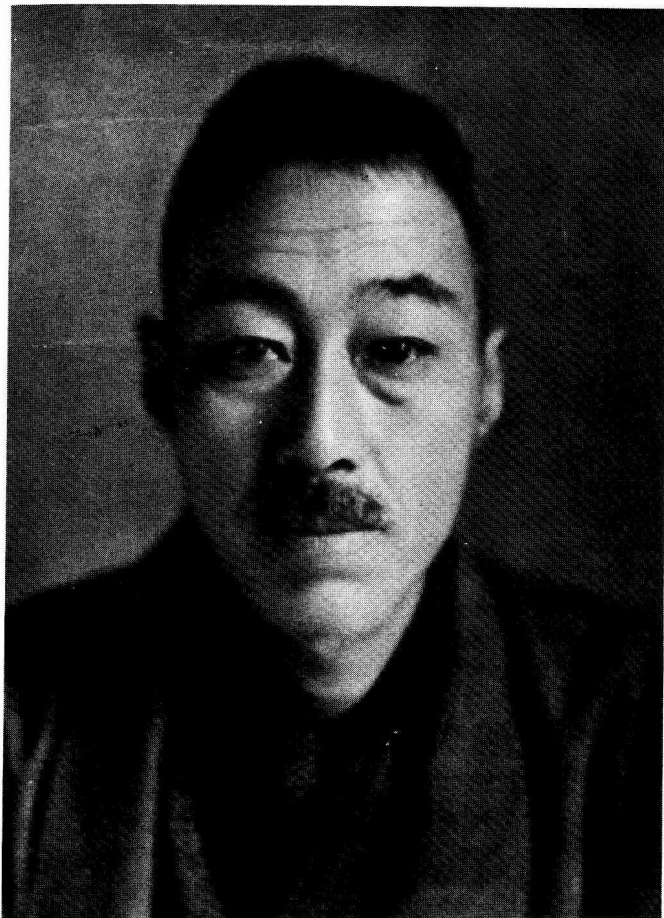
取次所 有限会社二里木書店

〒一〇一 東京都千代田区神田神保町一―一五

電話・〇三―二九四―六六六一

■組版・印刷／ナカムラ印刷 ■製版／恂小松プロセス

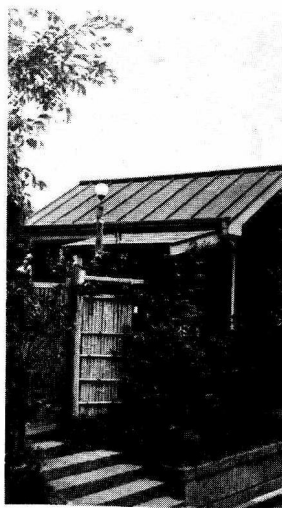
© 1982 Nobuya Noguchi



野口雨情（昭和5年）

数々の名作を生んだ最初の童心居(右)。

雨情の生地、北茨城市にできた“雨情記念館”。





生徒たちを前に講演する雨情。年月不詳

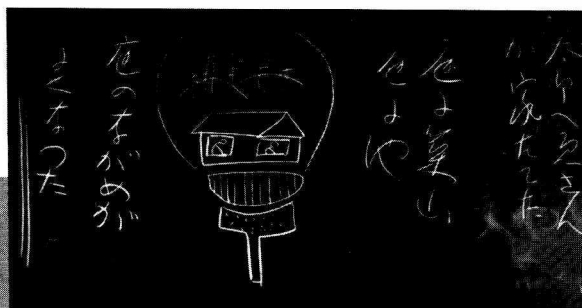
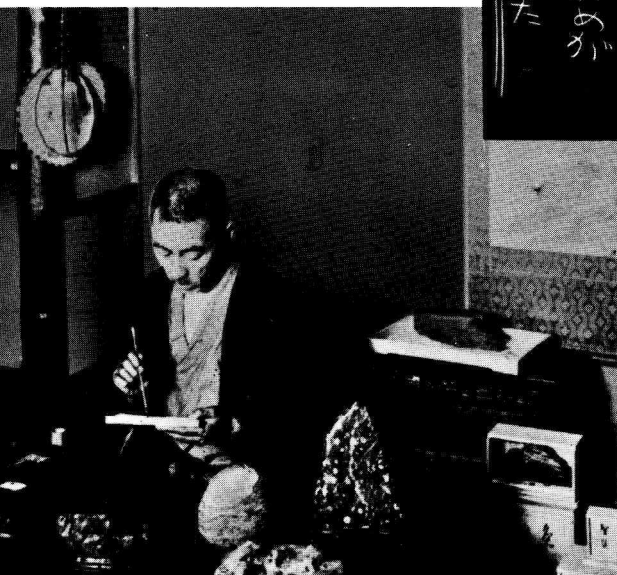
昭和2年8月、山梨県宮本村猫坂の長者屋敷跡で取材中の雨情。





昭和2年、NHK大阪放送局にて。

旅行先でくつろぐ雨情。年月不詳

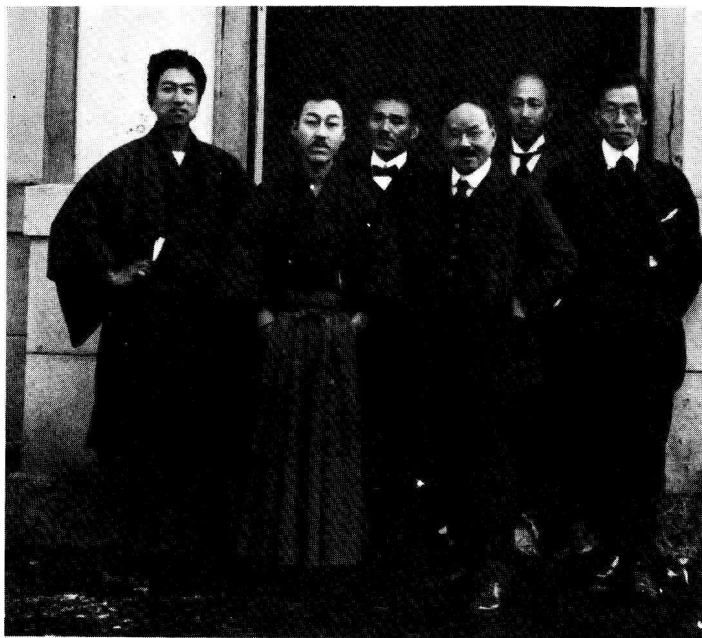


昭和4年8月29日、秋田県立花輪高等女学校で、講演時黑板に書いた板書。

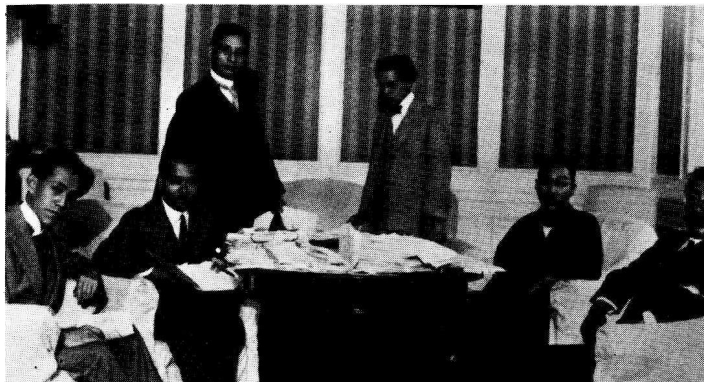
大正9年6月、水戸から  
上京する時の記念写真。  
中央が雨情、右端つる夫  
人。（水戸にて）



大正末期、前列左より斎  
藤佐次郎、雨情、沖野岩  
三郎、岡本帰一。



大正15年、「カルピス」  
募集の童謡の選考にあた  
る。左から西条八十、葛  
原滋、二人おいて雨情、  
中山晋平





昭和初年の頃、「コドモノクニ」編集長・和田古江を囲んで。最前列左より一人おいて森田たま、北川千代、和田古江、村岡花子、岩岡ともえ、二列目左より神谷万吉、野口雨情、西条八十、北原白秋、竹久夢二、土川五郎、中山晋平、三列目左より一人おいて安泰、川上四郎、水谷まさる、武井武雄、一人おいて、岡本帰一、後列左より三人おいて、初山滋、楨本楠郎。

昭和の初め、童謡の普及運動の途中、台湾にて。前列中央が雨情、その右中山晋平、左隣りが佐藤千夜子。





雨情が、晩年の一年を過ごした宇都宮市の家と碑。

豆大島・波浮港の「波浮の港」の歌碑。

千葉県木更津市、証誠寺境内の碑の前で。年月不詳







雨情の創作活動を支えた晩年のつる夫人。



第一部 野口雨情 人と文学

雨情さんのことども	秋山清	2
雨情詩「その夜」のタイトル私考	阿蘇華一	7
一枚の写真	池野藤兵衛	11
捕虜と童謡	今村清	14
雨情校歌の発見	植木登	20
倉橋惣三先生からお聞きした話	大塚 愆	38
野口雨情、初期詩篇の意味するもの	岡部勝司	42
雨情と松根有二と中上健次	恩田雅和	46
民謡と私	恩田幸夫	57
我が家と雨情さん	金森重三	59
私の秘蔵本をめぐる	川野辺精	62
野口先生との出会い	神沢貞義	66
モーツァルトと雨情さん——小林秀雄氏の「モーツァルト」から考える——	菊田義孝	70

一枚の短冊……………	久慈正夫……………	77
雨情、晋平両先生をお迎えした頃の思い出……………	小林八十吉……………	79
河原柳と捨てた菫の懐い……………	佐々井秀緒……………	83
遠景の記憶……………	佐々木龍之……………	86
忍び草——雨情童謡時代……………	篠崎徳太郎……………	90
野口雨情の人と作品……………	島田馨也……………	95
野口雨情先生の思い出……………	下田惟直……………	98
思い出のままに……………	筋野ひさ子……………	100
二つの軌跡——若き雨情におけるキリスト教的なもの……………	鈴木重昭……………	102
雨情先生追慕……………	鈴木章弘……………	109
「合歓の花」に思う……………	鈴木俊夫……………	115
よしきりのうた……………	澄川稔……………	118
雨情民謡・中野小唄考……………	関沢正昭……………	123
「いちばん星」のことなど……………	達崎龍一……………	128
野口雨情詩碑建立の記……………	中馬満彦……………	135
昭和初期の「民謡音楽」について……………	綱島嘉之助……………	138
帰って来た「赤い靴」の少女……………	富樫啓……………	141
勝承夫氏の随筆……………	徳井勇……………	151

『らっきよ畑』出版記念会で……………	長島和太郎……………	155
「赤い靴」小感……………	西岡光秋……………	159
雨情先生にまつわる思い出……………	西山又二……………	163
可憐なるものの死と孤児と——児玉花外氏と父野口雨情——	野口存彌……………	168
法事……………	花村寛……………	192
「雨情会会録」をみる……………	羽田松雄……………	195
新伊勢音頭の成立攷……………	東道人……………	210
「堂々めぐり」……………	藤井徳耶……………	247
社交ダンスに対する感想……………	藤塚崖花……………	250
童心句の提唱……………	穂曾谷秀雄……………	252
雨情と父益子徳三……………	益子政史……………	257
おはかまいり……………	松本帆平……………	261
童謡「証城寺の狸囃子」の発想……………	三井良尚……………	264
雨情の民謡について……………	山口義孝……………	269
野口雨情先生と岐阜とのつながり……………	若染一雄……………	276

## 第二部 同時代の詩壇と詩人

野口家と松本帆平先生のことなど……………	荒木忠三…284
伊那谷における雨情、耿之介先生……………	篠田啓子…287
松根有二のこと……………	鈴木勝…301
ほんとにそうなら——詩人久保田宵二氏と——……………	戸張杜夫…307
「金の星」の童謡投書家達……………	檀上春清…310
小嶋政一郎先生のこと……………	縫 暎 之…320
「詩と歌謡と」と鈴木章弘さん……………	橋本幸次郎…325
民謡につかれて……………	廣瀬晶子…327
相馬御風先生の思い出……………	松本四郎…333
達崎龍さんとの細い糸……………	森たかみち…336
深悼・内藤千乃夫人……………	柳生四郎…339

## 第三部 参考文献

樺太東海岸の土人……………	野口雨情…344
---------------	----------

石川啄木と小奴	野口雨情
小川芋銭先生と私	野口雨情
	349
	357

野口雨情年譜

●野口雨情年譜	野口存彌
	366

●参考図書一覧	
	383

●あとがき	野口存彌
	384

# ■ 第一部

## 野口雨情 人と文学

明治四〇年頃の雨情（左） 左は親友久木東海男

